

令和3年度 事務事業マネジメントシート

令和3年度 事務事業マネジメントシート		事務事業No.		6-	2
事業名	狂犬病予防対策経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	4
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施 策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	犬の飼い主	目的（対象がどのような状態になっているか）	狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、畜犬登録を行い予防接種率の向上を図り、環境被害のない健全な生活環境を作る。
事業内容	狂犬病予防法により、狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、犬の飼い主に義務付けられた犬の登録と予防接種率の向上を図り、注射済票の交付を行ない、環境被害のない健全な生活環境を作る。また、畜犬所有者の転出入者の取り扱い、各市町村・保健所からの照会への対応、原簿登録の管理を行っている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	狂犬病予防注射接種率	89			%	↑	96	
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
財源 内訳	全体事業費（千円）A+B		3,342		5,519		4,476		
	直接事業費A		1,494		2,879		1,506		
	うち一般財源		292		1,646		235		
人件費（千円）B			1,848		2,640		2,970		
内訳	一般職員（人・千円）		0.28	1848	0.4	2640	0.45	2970	
	臨時職員（人・千円）			0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善＜※主管課長記入＞

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	自治会、動物病院、保健所等と協力し、未登録、未接種犬の防止に努める。野良猫の増加防止のため、TNR事業を実施していく。避妊去勢補助については、野良犬野良猫の防止にも繋がることから、一旦終期設定は行うが、近隣市町の動向を見ながら継続していく。	③取組の課題	新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、集合注射の継続について獣医師会と協議しながら検討する必要がある。また、ペットの飼養マナーについて、飼い方のマナー向上等周知啓発を行っていく必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	狂犬病予防法に基づき4月に集合注射を実施。また、飼い主のいない猫に対してTNR事業を実施した。	④今後の改善計画	自治会、動物病院、保健所等と協力し畜犬の未登録、狂犬病予防注射の未接種の防止に努める。野良猫の増加防止対策として、自治会及び地域住民の協力を得ながらTNR事業を実施していく。